



粟ヶ岳から360度の眺望

## 越後 越後白山～粟ヶ岳

煤孫

【日時】 2008年3月8日(土)～9日(日)

【メンバー】 L栗原、山川、山口、棚橋、煤孫、佐貫

昨年のちょうど同じ時期、お試し山行で粟ヶ岳に行った。日本海から直接吹きつける強風に驚き、「死ぬんじゃないか」と思いながら歩いた。あれから1年経ち、今度は越後白山からの縦走の計画があったので参加させてもらった。1年で自分がどれだけ変わったかを試したかった。

ムーンライトえちごで加茂まで行き、予約してあったタクシーで慈光寺まで行った。朝早いので誰もいない。越後白山への道は2本あるが、比較的最近のトレースのあった西側の尾根から登った。越後白山までは雪が締まっていて歩きやすかった。

越後白山山頂には立派な避難小屋があり、中で休憩した。誰もいなかったのも、貸切状態だった。

越後白山から先はトレースがなくなり、ラッセルになる。膝下くらいだったのでそれほど苦もなく進む。宝蔵山までは分かりやすい尾根だった。

宝蔵山の下りは広い尾根で、ルートが分かりにくくなる。夏道があるはずだが、赤布はまったくなかった。この頃にちょうど視界が悪くなった。737mのピークからの下りで尾根を間違え、1本西側の尾根を下ってしまった。左手に見える尾根の方が高かったのも間違いに気づき、引き返した。登り返したところで視界がはれ、進むべき南西に延びる尾根が見えた。ここからは迷わなかった。

宝蔵山からの下りは、今回のルートの中でもっとも分かりにくい箇所だった。ちょうどここで視界がなかったのは不運だった。

高柳への分岐を過ぎてからは、視界もはれていたし、尾根も分かりやすかった。686m付近で泊まる予定だったが、明日のことを考えてもう少し先に進む。20分ほど歩いたところにテント適地を見つけた。

時間が早かったのも、明るい時間から宴会が始まる。酔いも回り、夜行の疲れもあって8時には就寝した。

2日目は朝から天気が良かった。6時にテント場を出発した。夜に雪は降らなかったようで、ラッセルは昨日と同じ膝下くらい。それほど苦ではなかった。尾根も分かりやすく、視界もはれていたのも道に迷うことはなかった。

標高1000m超の尾根だが雪庇が張り出していて、高山の雰囲気だった。樹林帯では所々亀裂があり、足が潜ることがあって難儀した。

権ノ神岳を過ぎると風が強くなった。適当な休憩場所がなく、風に吹かれながら休憩

<http://www.tomanokaze.dojin.com/>

を取った。昨年ほど風が強くなかったので助かった。

砥沢のヒュッテへの分岐を分けると、風も強くなったが景色も良くなり、粟ヶ岳までのルートがはっきり見えた。緩やかなアップダウンを経て粟ヶ岳山頂に着いた。

粟ヶ岳の山頂からは360度の展望を得た。それまでの疲れが吹き飛んだ。これがあるから山はやめられない！

粟ヶ岳山頂から砥沢のヒュッテまで下って休憩する。砥沢のヒュッテは雪に埋まっていて使えなかった。ここから携帯が繋がったので、タクシーを予約した。

タクシーの時間を早めに予約してしまったので、下りは急いで下った。貯水池に下りてからの林道が、足がズボズボ潜って辛かった。

加茂美人の湯に入ってから帰路に着いた。タクシーで燕三条まで行き、新幹線で帰った。「久しぶりに地元の交通機関をフル活用した」と越後組の弁。

昨年行けなかった越後白山からの縦走をし、粟ヶ岳では素晴らしい眺望を得て、充実の山行だった。個人的には、技術、体力ともに課題が残ったが、昨年のような怖い思いはしなかった。課題を克服しながら、余裕を持って冬山を楽しめるようになりたい。



【写真】 砥沢のヒュッテから見た粟ヶ岳

【行程】 3/8 慈光寺(5:50)～越後白山(8:45-9:05)～宝蔵山(10:55)～高柳への分岐(12:30)～686m(14:30)～テント場(14:50)

3/9 テント場(6:00)～權ノ神岳(7:10)～粟ヶ岳(9:55-10:10)～砥沢のヒュッテ(11:05-25)～駐車場(13:20)

【地図】 越後白山、粟ヶ岳